

5月15日（月）「雑草」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

ある詩を 読みます。この詩の題名は、「雑草のうた」 といいます。

（詩の朗読）

みなさんは、「雑草」を知っていますか。

種を埋めていないのに、どこからか雑草が生えてきて、草むしりをする必要がありますね。道路のすき間にも雑草が生えてきている様子を見たことがあると思います。

でも「雑草という名の植物はない」という言葉を使った人がいます。それは、牧野 富太郎（まきの とみたろう）という人です。

今から150年前ぐらい前に生まれた人で、 多くの植物に名前を付けて、日本の「植物学の父」と言われています。牧野 富太郎（まきの とみたろう）さんが発見したり名前を付けたりした植物の数は、なんと 2500 種以上といわれています。すばらしいですね。

牧野 富太郎さんは、今 TV で放映されているドラマ「らんまん」の主人公のモデルとなった人です。

どの草にもみんな名前があり、その名前を大切にすることは、植物を大切にすることです。名前の意味を知ると、植物の特徴がよく分かります。みなさんもいろいろな植物を観察して、知っている名前を増やしていきましょう。

授業で植物の観察をすることがあったら、ぜひ何という名前なのか調べてみてくださいね。

それでは、以上でお話を終わります。（礼）

